

カリーの図形

米国の数学者カリーにより作成されたパズルを、3Dプリンタで作ってみました。



講談社 ブルーバックス
馬場雄二著

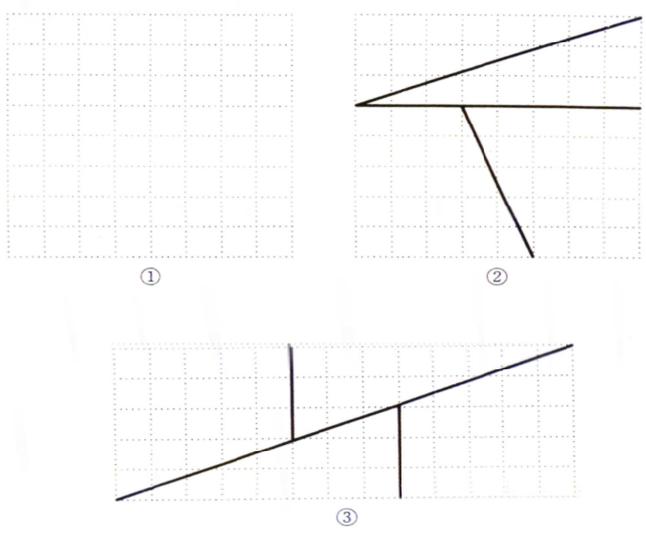
①

3 ハテッ、数が変わる!?

不思議なパズルを見つけた。簡単につくれるので、自作して友だちをビックリさせよう。まず図①の方眼をつくり、②のように分割する。それを③のように並べると、64個だった正方形が5×13個に。なぜ？

47

8 × 8
||
5 × 13
!?



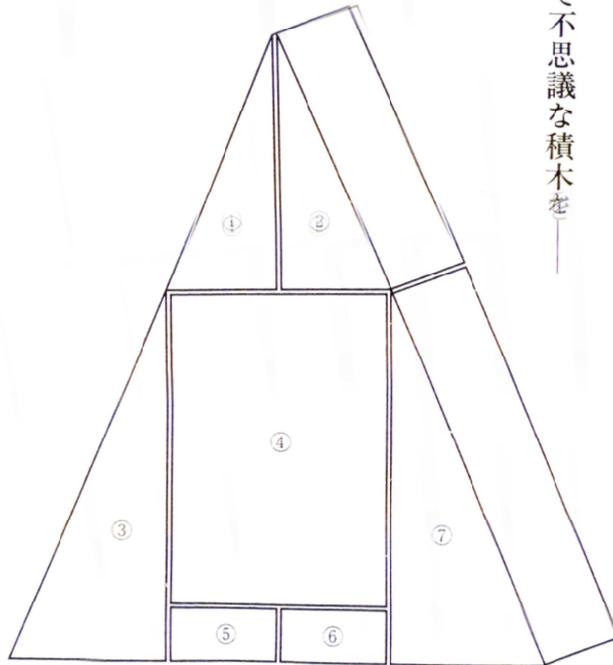
②

3 ハテッ、数が変わる!?

カリーの図形を応用してマジック積木をつくることにした。図のような積み方で、①と③、②と⑦を入れかえ、④を横にして積み替えると、穴があいてしまう。どこにどんな大きさの穴があくだろう？

48

カリーの図形で不思議な積木を

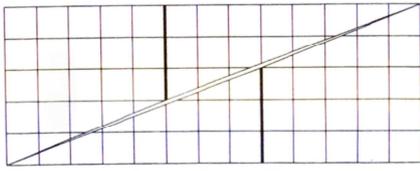


161

答え

①

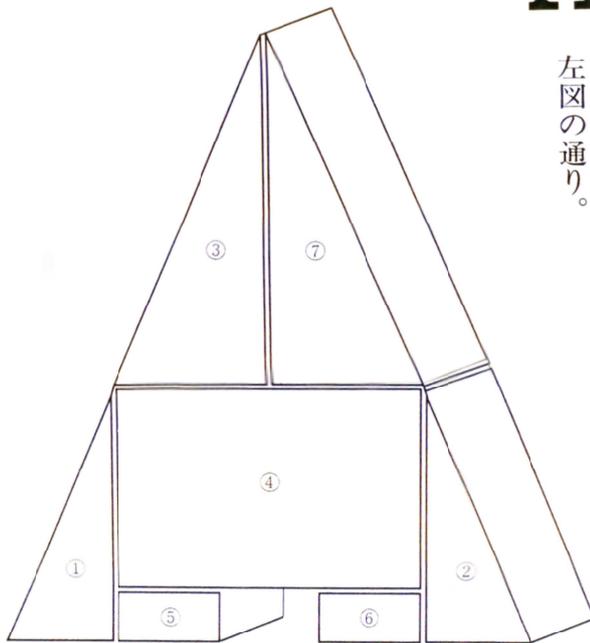
本当は、図のように、すき間ができているのだが、正方形の数で判断してしまう。角度のちがいに気づかないように、手でちぎって分割すると、手品としてはさらに効果的。米国の数学者カリにより作成された。



47

わずかな角度の誤差に気がつかないから。

②



48

左図の通り。

(④と⑤・⑥を入れ変えて、穴の位置を変えることもできる)